

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム京都北山の家

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 8 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	55	転倒が不定期に続いている。	転倒を減らし、利用者の安全を確保する。	転倒リスクの高い利用者の行動や服薬内容を見直す。生活動線の再確認。	6ヶ月
2	46	夜間、入眠困難者がいる。	生活リズムを見直し、日中活動を強化する。	早くに入床している利用者の覚醒する時間を把握し、入眠時間が適正か見直す。日光浴などを行い、体内時計を整える。	6ヶ月
3	48	孤立気味な利用者がいる。	レクやイベントで無理なく全員参加できる行事を行いたい。	利用者一人ひとりの思いを確認し、それにあった支援を行う。	6ヶ月
4	35	防災対策。	大規模災害を想定し、この施設にあった行動を考える。	ハザードマップを確認し、地元消防署にも問い合わせ、いざというときは非難するほうがいいのかの再検討をする。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。